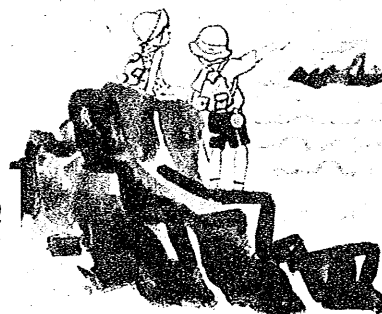


# 算 数

第四学年用

下



K160.4

1

4下

秋子さんの町で、今年 十月一日に 調べた  
時の 戸数と人口は、次のとおりでした。

戸 数	3597 戸
人 口	17985 人

秋子さんは、一軒の家の家  
族の人数は約何人かを、右の  $3600 \overline{)18000}$   
ように 計算しました。

私たちも そのわけを 考えてみましょう。

次の計算で、答は 約いくらになりますか。  
上のように 計算しましょう。

$$\begin{array}{lll}
 79582 \div 4975 & 175197 \div 69762 & 270582 \div 6023 \\
 7497 \div 1498 & 8978 \div 1803 & 14972 \div 2497 \\
 13499 \div 2608 & 19512 \div 6498 & 31503 \div 3501 \\
 16498 \div 3298 & 36121 \div 4502 & 26987 \div 5389 \\
 27499 \div 5487 & 26112 \div 6495 & 22499 \div 7502 \\
 26397 \div 8598 & 99875 \div 2503 & 24975 \div 4987 \\
 45986 \div 2299 & 260587 \div 2599 & 65134 \div 24975
 \end{array}$$

## [晝 と 夜]

近ごろは、日が 大へん短くなりました。

正君は 登山したころを思い出して、日が短くなったのに おどろいています。

日が どれだけ短くなったかを 調べるには、どんなことが わかればよいでしょう。

正君は 暦を調べて、次のようなことを 書きとめています。

	日の出	日の入
八月十八日	五時一分	六時二十五分
十二月一日	六時三十二分	四時二十八分

正君は 次のようなことを 調べています。

(い) 十二月一日の日の出は、八月十八日にくらべて 何時間 おそいか。

(ろ) 十二月一日の日の入は、八月十八日にくらべて 何時間 はやいか。

正君は、(い)を右のように計算しました。

(ろ)を、(い)の仕方と同じよう  
に計算しようとしたが うま  
くできません。

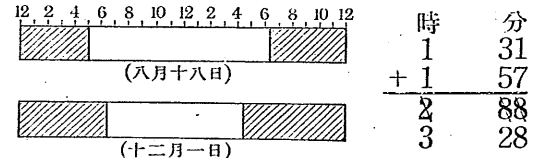
$$\begin{array}{r} \text{時 分} \\ 6 \quad 32 \\ - 5 \quad 1 \\ \hline 1 \quad 31 \end{array}$$

正君は 考えこんでいます。私たちも 考えてみましょう。

正君は、八月十八日の 日の入の時刻を、5時 85分と 考えて計算し、日の入のちがいは 1時間 57分であることが、わかりました。

正君は、日が どれだけ短くなったかを 考えています。どんな計算をすればよいでしょう。

正君は、下のような図を書いて、次のように 計算しました。そのわけを 考えましょう。



正君は、十二月一日の晝の長さ と 夜の長さ

とをくらべています。

どちらが長い、図について調べましょう。  
 どれだけちがうか、計算してみましょう。

どんな計算の仕方があるでしょう。

また正君は、八月十八日についても、同じようなことを調べています。

私たちも考えてみましょう。

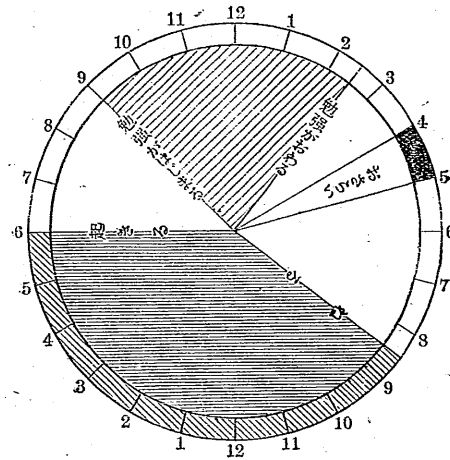
正君は、家の人のねる時刻と、起きる時刻とを調べて、下のような表に作りました。

	ねる時刻	起きる時刻
父	午後 9 <sup>時</sup> 30 <sup>分</sup>	午前 5 <sup>時</sup> 25 <sup>分</sup>
母	" 9 45	" 4 30
兄	" 9 30	" 5 30
正	" 8 30	" 6 00
妹	" 7 30	" 5 30

正君は、ねる時間のいちばん長いのはだれか、いちばん短いのはだれかを考えています。

どんな調べ方があるでしょう。

正君は、一日の生活を、次のようなグラフに書きました。



正君が、学校にいるのは、何時間ぐらいでしょう。そのほか、正君の生活について、調べてみましょう。

私たちの生活も、上のような図に書きましょう。また、私たちの生活と正君の生活とくらべましょう。

## 〔計算練習〕

(1) 次の計算を暗算でなさい。答は珠算でたしかめましょう。

$$440+340 \quad 530+360 \quad 620+360 \quad 620+260$$

$$7400+550 \quad 4100+4500 \quad 54000+34000$$

$$5400-3400 \quad 1740-840 \quad 78500-28000$$

$$65000-35000 \quad 15700-7700 \quad 64300-44000$$

(2) 次の計算を筆算でなさい。答は珠算でたしかめましょう。

$$432+247+336+674$$

$$8576+3285+6079+7854$$

$$7668+6866+365+4428$$

$$1092-324+157-359$$

$$19876-6547-4674-7796$$

$$583+758-595-337+988$$

$$3245.3-555.9-897.8-796.9$$

$$985.3+688.7-452.6+565.8-877$$

$$5228.9-2866.3-106.2-476.8-764.9$$

(3) 次の計算をなさい。

$$30 \times 40 \quad 60 \times 20 \quad 15 \times 60 \quad 12 \times 70$$

$$140 \times 50 \quad 360 \times 20 \quad 400 \times 50 \quad 104 \times 90$$

$$300 \times 30 \quad 120 \times 70 \quad 170 \times 40 \quad 1500 \times 30$$

$$20 \times 40 \quad 20 \times 300 \quad 24 \times 40 \quad 82 \times 10$$

$$5 \times 400 \quad 45 \times 200 \quad 25 \times 300 \quad 16 \times 500$$

$$4 \times 400 \quad 40 \times 300 \quad 70 \times 200 \quad 500 \times 120$$

$$2 \times 350 \quad 20 \times 400 \quad 3 \times 700 \quad 5 \times 1500$$

$$1000 \times 15 \quad 8000 \times 12 \quad 6000 \times 14 \quad 4000 \times 25$$

$$168 \div 8 \quad 205 \div 5 \quad 108 \div 9 \quad 105 \div 7$$

$$189 \div 9 \quad 162 \div 2 \quad 305 \div 5 \quad 164 \div 4$$

$$459 \div 9 \quad 306 \div 6 \quad 728 \div 8 \quad 324 \div 4$$

$$288 \div 4 \quad 153 \div 3 \quad 287 \div 7 \quad 246 \div 6$$

$$108 \div 3 \quad 427 \div 7 \quad 336 \div 6 \quad 315 \div 3$$

$$3600 \div 600 \quad 4800 \div 800 \quad 5600 \div 700$$

$$6000 \div 1500 \quad 5000 \div 250 \quad 8000 \div 160$$

$$6400 \div 400 \quad 7000 \div 3500 \quad 7500 \div 2500$$

(4) 次の計算を筆算でなさい。

$$3\overline{)435} \quad 2\overline{)898} \quad 5\overline{)760} \quad 7\overline{)868}$$

$$6\overline{)972} \quad 4\overline{)832} \quad 4\overline{)680} \quad 6\overline{)768}$$

$$2\overline{)357} \quad 7\overline{)954} \quad 4\overline{)947} \quad 3\overline{)851}$$

$$2\overline{)1306} \quad 6\overline{)4236} \quad 7\overline{)4956} \quad 9\overline{)8829}$$

$$5\overline{)12850} \quad 9\overline{)18540} \quad 4\overline{)18360} \quad 8\overline{)33840}$$

$$6\overline{)4001} \quad 8\overline{)6046} \quad 5\overline{)3448} \quad 7\overline{)3215}$$

$$30\overline{)2880} \quad 50\overline{)3900} \quad 50\overline{)1700} \quad 40\overline{)1480}$$

$$90\overline{)4050} \quad 40\overline{)2320} \quad 60\overline{)2700} \quad 40\overline{)3320}$$

$$60\overline{)4500} \quad 80\overline{)4560} \quad 70\overline{)3920} \quad 70\overline{)2660}$$

$$13\overline{)871} \quad 38\overline{)608} \quad 18\overline{)576} \quad 27\overline{)729}$$

$$35\overline{)875} \quad 43\overline{)602} \quad 49\overline{)784} \quad 16\overline{)432}$$

$$29\overline{)435} \quad 19\overline{)494} \quad 26\overline{)728} \quad 81\overline{)972}$$

(5) 次の計算を筆算でなさい。

$$13\overline{)377} \quad 15\overline{)540} \quad 24\overline{)888} \quad 15\overline{)705}$$

$$37\overline{)999} \quad 14\overline{)658} \quad 17\overline{)255} \quad 35\overline{)525}$$

$$36\overline{)630} \quad 58\overline{)876} \quad 29\overline{)357} \quad 25\overline{)425}$$

$$28\overline{)1232} \quad 52\overline{)4420} \quad 36\overline{)2052} \quad 67\overline{)1809}$$

$$46\overline{)1196} \quad 27\overline{)1053} \quad 58\overline{)3682} \quad 57\overline{)1368}$$

$$58\overline{)1929} \quad 37\overline{)2546} \quad 79\overline{)2978} \quad 48\overline{)1327}$$

$$16\overline{)3360} \quad 26\overline{)6006} \quad 25\overline{)3150} \quad 12\overline{)7884}$$

$$24\overline{)8808} \quad 35\overline{)4250} \quad 45\overline{)6030} \quad 19\overline{)9443}$$

$$78\overline{)9725} \quad 19\overline{)3567} \quad 28\overline{)9370} \quad 27\overline{)8024}$$

$$35\overline{)12110} \quad 36\overline{)12312} \quad 48\overline{)11134}$$

$$36\overline{)20484} \quad 56\overline{)39690} \quad 58\overline{)29115}$$

$$47\overline{)25098} \quad 69\overline{)31464} \quad 48\overline{)29155}$$

## [いろいろな問題]

(1) 秋子さんは、お話の本を三日かかって読みました。はじめの日に二十六ページ読み、次の日には二十九ページ、三日目には十七ページ読みました。

茂君が、この本を四日間かりて読むことにしました。一日に何ページの割合で読めばよいでしょう。

(2) にいさんが三百二十四ページの本を、一日に五十四ページずつ読むのだといっています。この本を何日間で読むつもりでしょう。

この本を九日間で読むには、毎日何ページずつ読めばよいでしょう。

(3) 私は、おとぎ話の本を四十八ページ読みました。もう十六ページ読むと、ちょうど三分の一読んだことになります。

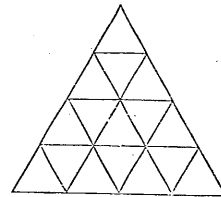
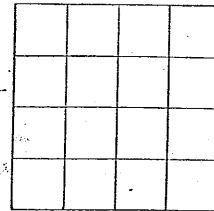
この本は何ページあるでしょう。

(4) 正君は、この本の百二ページにある数字の数を調べてみようと思って、右のような表を作っています。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
正	正	正	正	正	正	正	正	正	正

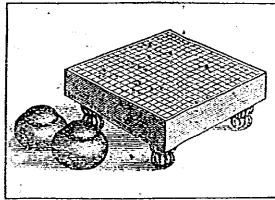
私たちもこのようにして調べましょう。調べあげたら、棒グラフに書いてみましょう。いちばん多く使われているのは、どの数字でしょう。

(5) 下の左の図では、正方形がいくつあるでしょう。右の図では、正三角形がいくつあるでしょう。



(6) ごぼんには、縦にも横にも、線が十九本ずつ引いてあります。

線のまじわった所へ  
ご石を置くと、みんな  
でいくつ置くことが、  
できるでしょう。



ごぼんには、縦・横の  
線でできた小さな四角がいくつあるでしょう。

(7) 東京から大阪までの鉄道の長さは  
553.7 km で、大阪から下関までは 540.1 km  
です。

東京から下関まではどれだけあるでしょう。

東京から大阪までは、大阪から下関までよ  
りもどれだけ長いでしょう。

(8) おとうさんは、十一月二十五日に家を  
たって、大阪へ旅行なさいました。

十二月十日の午後三時二十五分 東京に着  
く汽車で帰るといふ知らせがありました。

私は にいさんと、午後二時半に家を出て、  
駅までむかえにいきました。駅に着いたのが

三時五分前でした。汽車は ちょうど 三時二  
十五分に着いて、おとうさんが おりてこられ  
ました。おとうさんは、その日 大阪を 午前  
六時五十五分に たたれたのだそうです。家  
へ帰ったのが 午後四時五分でした。

上の話で、どんなことが わかりますか。

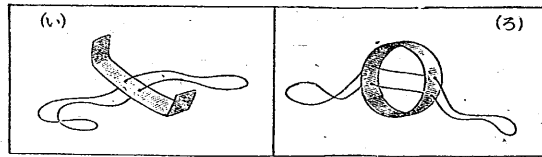
(9) 正君は、3000 m はなれている おじさ  
んの家まで、大急ぎでお使いにいきました。  
午後三時四十五分に出て、四時半に おじさん  
の家につきました。

正君は、一分間に 何メートルの割合で 歩  
いたのでしょう。この速さで 一時間歩くと  
何メートルいくことが できますか。

(10) 山下君は にいさんと、おじさんの家へ  
いきました。山下君の家から おじさんの家  
まで、歩いて 三時間かかるそうです。山下君  
たちは 今、その三分の二だけ 歩きました。  
おじさんの家まで、あと何時間かかるでしょう。



## [ぶんぶんまわし]



茂君は、上の左の図のようなぶんぶんまわしであそんでいます。どんな形ができるでしょう。私たちも、作って遊びましょう。また、できた形を紙に書きなさい。

勇君が、右の図のようなぶんぶんまわしを、持って来ました。そのぶんぶんまわしで、どんな形ができるでしょう。私たちも、作って遊びましょう。また、できた形を紙に書きなさい。

茂君と勇君が、いろいろな形のぶんぶんまわしを工夫して、作っています。

二人は、ぶんぶんまわしでできる形を、調べています。

\*

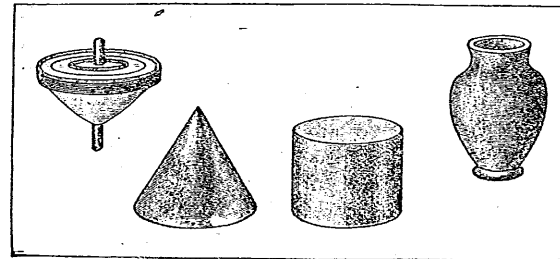
ぶんぶんまわしでは、どんな形ができるでしょう。

ぶんぶんまわしでできる形を「回轉体」といい、糸の方向を「回轉の軸」といいます。

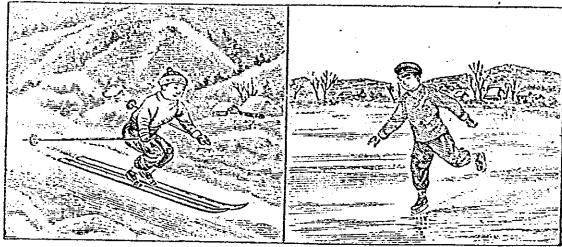
回轉体は、回轉の軸の方向から見ると、円に見え、軸のまわりのどの方向から見ても、同じ形に見えます。

回轉体を紙に書きなさい。その形をぶんぶんまわしに作って遊びましょう。

下の形は、どれも回轉体です。回轉の軸はどんな直線ですか。



## 〔スキー・スケート〕



寒い地方では、冬になると雪が降ったり、氷がはったりします。子供たちは、スキーに乗ったり、スケートですべったりして遊びます。

小林君は、おばさんのところへ、スキーに乗ってお使いにいきました。秋のころ歩いていった時、約二時間かかったのに、こんどは約一時間で着きました。

小林君は、家に帰ってから、歩いていった時の道のりと、スキーでいった時の道のりとを調べています。

歩いていった時の道のりは約8kmですが、

スキーでいった時の道はずっと近くになって、その道のりは約6kmになります。

小林君は、スキーでいった時の速さと、歩いていった時の速さとをくらべています。

私たちも考えましょう。

村田君は、スケートで10分間に約1.5kmいくことができるそうです。

村田君がスケートでいく時の速さと、小林君がスキーでいく時の速さをくらべましょう。

「速さ」は、単位時間にいく道のりではかります。

村田君がスケートでいく時の速さは、1時間約何キロメートルでしょう。1分間約何メートルでしょう。

小林君が歩いていった時の速さは、1時間約何キロメートルでしょう。1分間約何メートルでしょう。

## 〔雪の日〕

茂君は、おとうさんにつれられて、ふろ屋へいきました。帰りには、雪がものすごく降って来て、前に歩いた人の はき物の あとが、すぐうずまってしまいました。

おとうさんが、「こんなに降ると、雪おろしをしなくてはいけません」とひとりごとをいわれました。

雪の上に 棒をたてて はかってみると、10分間に 約1.5cm つもりました。

茂君は、この割合で 雪が降ると、一時間に 約何センチメートル つもるかを 計算しています。また、十時間降りつづくと、約何センチメートル つもるかも 計算しています。

茂君は、次のように計算しました。

$$1 \text{ 時間につもる雪の深さ} \quad 1.5 \times 6 = 9.0(\text{cm})$$

$$10 \text{ 時間につもる雪の深さ} \quad 9 \times 10 = 90(\text{cm})$$

そのわけを 考えましょう。

茂君は、雪が 十時間降りつづくとして、屋根につもる 雪の重さが、どれくらいになるかを 調べています。

一辺10cm のま四角な箱のような形に雪をとり、その重さをはかたら 約200g でした。

10cm 四方の 地面の上に 10時間 降りつづくとして、その雪の重さが どれくらいになるかを 計算しています。

私たちも 計算してみましょう。

茂君が、200g の9倍を計算した時、0が多いので、新しい計算の仕方を工夫しました。

$$\begin{array}{r} 200 \\ \times 9 \\ \hline 1800 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.2 \\ \times 9 \\ \hline 1.8 \end{array}$$

答 1800g

答 1.8kg

上の二つの計算について、答が同じになるわけを 考えなさい。

茂君の家の屋根の廣さは、約  $120 \text{ m}^2$  だそうです。

まず、屋根の廣さが  $10 \text{ cm}$  四方の何倍になるかを調べて、右のような計算をしました。

$$\begin{array}{r} 1.8 \\ \times 12000 \\ \hline 36 \\ 18 \\ \hline 21600.0 \end{array}$$

このわけを 考えてみましょう。

次の計算をなさい。

$$\begin{array}{r} 0.2 \\ \times 4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.5 \\ \times 2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.3 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.4 \\ \times 2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.5 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.7 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.3 \\ \times 5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.2 \\ \times 7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.5 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.6 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.6 \\ \times 6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 2.4 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.8 \\ \times 5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.7 \\ \times 6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.8 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.2 \\ \times 13000 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.7 \\ \times 14000 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.3 \\ \times 24000 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.5 \\ \times 15000 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.4 \\ \times 34000 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.6 \\ \times 25000 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1.3 \\ \times 24000 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5.3 \\ \times 13000 \\ \hline \end{array}$$

けさ 起きて見ると、雪がまた、新しくつもっていました。

茂「おかあさん、また、雪が降りましたね。」

母「けさ、四時ごろから 降り出して、今やんだところですよ。」

茂君が時計を見ると、ちょうど七時でした。それから、外に出て、雪の深さをはかってみると、 $25.5 \text{ cm}$  ありました。

茂君は、一時間に どれだけ 降ったかを、次のように 計算しました。

このように 計算して

$$\begin{array}{r} 85 \\ 3 \overline{)255} \\ \underline{1} \phantom{0} \\ 1 \phantom{0} \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.5 \\ 3 \overline{)25.5} \\ \underline{1} \phantom{0} \\ 1 \phantom{0} \\ \hline \end{array}$$

よいわけを 考えましょう。

次の計算をなさい。答は たしかめなさい。

$$5 \overline{)2.5} \quad 2 \overline{)4.8} \quad 3 \overline{)6.9} \quad 4 \overline{)8.4}$$

$$3 \overline{)12.3} \quad 6 \overline{)18.6} \quad 4 \overline{)21.2} \quad 7 \overline{)39.9}$$

$$4 \overline{)37.6} \quad 5 \overline{)21.5} \quad 7 \overline{)22.4} \quad 2 \overline{)31.2}$$

## 〔紙の厚さ〕

紙が学校へ配給になりました。千枚ずつの包みが三つだそうです。四年生に五百枚割りあてられました。

茂君は、家にある紙の厚さにくらべて、五百枚より多いのではないかと思いました。

配給係にたずねますと、千枚で15 cmだから、五百枚ならば7.5 cmぐらいあればよいのだといいました。

茂君は、さわってみて、ずいぶん厚い紙であることに気がつきました。

茂君は、配給の紙の厚さを計算しています。

$$1000 \text{ 枚} \quad . \quad 15 \text{ (cm)}$$

$$100 \text{ 枚} \quad 15 \div 10 = 1.5 \text{ (cm)}$$

$$10 \text{ 枚} \quad 15 \div 100 = 1.5 \div 10 = 0.15 \text{ (cm)}$$

$$1 \text{ 枚} \quad 15 \div 1000 = 0.15 \div 10 = 0.015 \text{ (cm)}$$

この計算の仕方をいってごらんください。

$\frac{1}{100}$  を小数では 0.01 と書きます。 $\frac{1}{1000}$  を小数では 0.001 と書きます。

$\frac{1}{10000}$  をどう書いたらよいでしょう。

次の分数を小数で書きなさい。

$$\frac{5}{100}, \quad \frac{12}{100}, \quad \frac{4}{1000}, \quad \frac{17}{10000}, \quad \frac{20}{10000}$$

次の小数を分数で書きなさい。

$$0.02, \quad 0.17, \quad 0.004, \quad 0.0015, \quad 0.245$$

ある数を10で割ると、小数点は、一けた左へうつります。100で割ると二けた、1000で割ると三けた、左へうつります。

茂君は、家へ帰って、紙の厚さを調べました。100枚で9 mm あったそうです。この紙の一枚の厚さを計算しましょう。

次の計算をなさい。

$$0.6 \div 10 \quad 15 \div 10 \quad 25 \div 10 \quad 0.05 \div 10$$

$$0.6 \div 100 \quad 15 \div 100 \quad 25 \div 100 \quad 0.05 \div 100$$

0.05 に 10 をかけると、いくらになりますか。  
100 をかけると、いくらになりますか。  
1000 をかけると、いくらになりますか。

小数点の位置は、どんなに変わりましたか。

0.18 に 10, 100, 1000 をかけて、上でわかったことをたしかめなさい。

ある数に 10 をかけると、小数点は、一けた右にうつります。100 をかけると二けた、1000 をかけると三けた右へうつります。

右の方へうつるけたの数は、0 がいくつあるかでまします。

次の計算をなさい。

$0.5 \times 10$	$1.8 \times 10$	$3.4 \times 10$	$0.07 \times 10$
$0.5 \times 100$	$1.8 \times 100$	$3.4 \times 100$	$0.07 \times 100$
$0.2 \times 20$	$2.3 \times 20$	$1.2 \times 400$	$0.07 \times 800$
$0.2 \div 10$	$4.6 \div 10$	$3.9 \div 1000$	$0.04 \div 1000$
$0.8 \div 40$	$2.8 \div 70$	$1.6 \div 400$	$0.09 \div 300$

[いろいろな問題]

(1) 東京から大阪までの鉄道の長さは 553.7 km で、大阪から下関までは 540.1 km です。

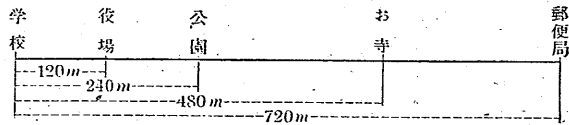
東京から大阪までを約 8 時間で走る急行列車は、一時間に何キロメートルの割合で走るでしょう。また、大阪から下関までを約 12 時間で走る普通列車は、一時間に何キロメートルの割合で走るでしょう。

(2) 客車を引く機関車の中に、大きな車輪の直径が 1750 mm のものがあります。この機関車が客車を引いて走る時、いちばんはやい速度は、一時間に 67.5 km の割合です。一分間に何メートルの速度といえるでしょう。

また、この大きな車輪は、一分間に何回転するでしょう。

(3) おとうさんは、4 km を歩くのに約 45 分かかり、茂君は、急いで歩いて 1 時間に 5 km 歩くそうです。この速さをくらべなさい。

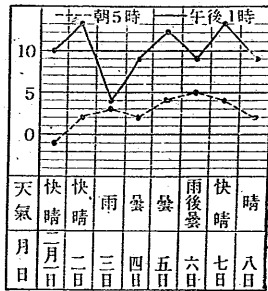
(4) 学校から、みんな そろって歩きだしました。今、お寺の前まで来ました。



学校から役場までの 何倍歩いたでしょう。  
 学校から公園までの 何倍歩いたでしょう。  
 これから郵便局まで歩くには、学校から今まで歩いた道のりのどれだけ歩くのでしょうか。  
 上の図について、まだ どんなことがわかりますか。

(5) 秋子さんは、  
 気温のグラフを書いています。

ねえさんが、右の  
 ようなグラフに書き  
 なおして、「晴の日と  
 雨の日では、朝、晝



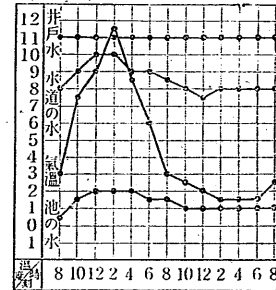
の気温がどちらがうでしょう。」ときかれました。

秋子さんは、晴の日の朝と晝との気温のちがいと、雨の日の朝と晝との気温のちがいをくらべています。どういったら よいでしょう。  
 私たちも、このような調べをして、天気予報を試みましょう。

(6) 秋子さんは、日曜日の朝、顔を洗おうとして井戸水をくみました。つるべからゆげが立っています。ふしぎに思って、くみたての井戸水の温度をはかってみたら、気温よりも高いことがわかりました。

外に出て、池の水の  
 温度をはかったら、気  
 温より低いことがわか  
 りました。

秋子さんは、これら  
 のことから、二時間お



きに、井戸水、池の水の温度と、気温とをはかって、前のページのグラフを作りました。

気温のいちばん低かった時と、高かった時とでは、何度ちがいますか。井戸水や池の水についても、このようなことを調べなさい。

午前八時の気温を書いた点から、同じ時刻の池の水の温度を書いた点へ赤線を引きなさい。八時、十二時、……と午後八時のぶんまで、このような赤線を引きなさい。

これらの赤線の中で、いちばん長いのは何時のぶんですか。それは何度と読めばよいでしょう。この赤線を、下のはしをそろえて並べかえたら、他のはしはどんな山の形になるでしょう。このことをグラフに書いてもらいなさい。井戸水と池の水、井戸水と気温などについても、このようなことを調べましょう。

私たちは、これから日曜日ごとに、このような調べをしてみましょう。

## 〔計算練習〕

(1) 次の計算を暗算でなさい。

$$0.5+0.4 \quad 0.2+0.6 \quad 0.3+0.7 \quad 4.9+0.1$$

$$3.2+4.3 \quad 2.8+5.1 \quad 8.5+5.5 \quad 1.7+3.8$$

$$0.8-0.5 \quad 0.6-0.3 \quad 0.7-0.6 \quad 0.9-0.4$$

$$5.5-2.7 \quad 2.3-1.4 \quad 9.8-2.9 \quad 6.4-3.6$$

$$\begin{array}{r} 2.5 \\ + 6.6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5.7 \\ + 2.7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.9 \\ + 1.4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.6 \\ + 2.6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7.8 \\ + 4.8 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5.7 \\ + 6.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.6 \\ + 5.7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.7 \\ + 5.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.5 \\ + 7.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 9.7 \\ + 3.5 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 13.7 \\ - 4.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 12.2 \\ - 6.4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 17.6 \\ - 7.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 54.3 \\ - 46.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 71.1 \\ - 66.7 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4.2 \\ \times 6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7.6 \\ \times 4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.3 \\ \times 7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.5 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.2 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

$$5\overline{)14.5} \quad 4\overline{)32.4} \quad 7\overline{)17.5} \quad 3\overline{)32.7} \quad 8\overline{)48.8}$$

$$43000 \times 200 \quad 1300 \times 300 \quad 31000 \times 200$$

$$206 \times 200 \quad 3020 \times 300 \quad 12200 \times 400$$



(2) 次の計算を筆算でなさい。

$$\begin{array}{r} 32.5 \\ + 2.5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 47.9 \\ + 1.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 68.3 \\ + 2.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 29.5 \\ + 0.57 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5.76 \\ + 0.63 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8.7 \\ + 19.2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.5 \\ + 21.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.3 \\ + 35.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.92 \\ + 6.45 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.84 \\ + 7.58 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 23.8 \\ + 45.2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 54.7 \\ + 33.6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7.96 \\ + 8.72 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3.43 \\ + 6.58 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.825 \\ + 0.656 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 256.7 \\ + 37.5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 45.16 \\ + 2.53 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.825 \\ + 3.519 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.679 \\ + 3.613 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.764 \\ + 0.265 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 34.8 \\ - 2.4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 52.7 \\ - 8.2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 83.5 \\ - 7.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.54 \\ - 0.67 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7.32 \\ - 0.95 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 86.5 \\ - 24.7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 62.3 \\ - 48.6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5.36 \\ - 3.69 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7.25 \\ - 5.58 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.937 \\ - 0.369 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 165.6 \\ - 82.3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 134.5 \\ - 72.6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 13.87 \\ - 5.78 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 12.58 \\ - 4.87 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1.454 \\ - 0.945 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 487.3 \\ - 192.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 53.93 \\ - 35.54 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7.684 \\ - 4.679 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.042 \\ - 3.733 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.009 \\ - 5.405 \\ \hline \end{array}$$

(3) 次の計算を筆算でなさい。

$$\begin{array}{r} 5.2 \\ \times 9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.6 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.27 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 0.57 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 52.9 \\ \times 13 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.37 \\ \times 15 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 69.2 \\ \times 19 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 9.16 \\ \times 17 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 70.3 \\ \times 14 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.24 \\ \times 26 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.48 \\ \times 18 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 80.5 \\ \times 27 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 49.1 \\ \times 13 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 62.5 \\ \times 24 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3.28 \\ \times 15 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.92 \\ \times 29 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 34 \\ \times 76 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 69 \\ \times 58 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 78 \\ \times 67 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 38 \\ \times 36 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 157 \\ \times 32 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 385 \\ \times 24 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 764 \\ \times 53 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 873 \\ \times 48 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 508 \\ \times 87 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 328 \\ \times 35 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 462 \\ \times 24 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 273 \\ \times 67 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 59 \\ \times 809 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 49 \\ \times 402 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 38 \\ \times 314 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 19 \\ \times 136 \\ \hline \end{array}$$

(4) 次の計算を筆算でなさい。

$$4\overline{)3376} \quad 6\overline{)3264} \quad 5\overline{)2715} \quad 4\overline{)1732}$$

$$5\overline{)4.275} \quad 3\overline{)28.65} \quad 8\overline{)3.656} \quad 9\overline{)23.49}$$

$$6\overline{)4.914} \quad 4\overline{)26.44} \quad 7\overline{)6.797} \quad 9\overline{)75.69}$$

$$2\overline{)1.842} \quad 5\overline{)16.45} \quad 8\overline{)4.328} \quad 9\overline{)17.19}$$

$$3\overline{)45.18} \quad 6\overline{)69.84} \quad 2\overline{)23.92} \quad 4\overline{)53.04}$$

$$7\overline{)73.64} \quad 9\overline{)96.12} \quad 8\overline{)92.56} \quad 5\overline{)75.95}$$

$$6\overline{)94.98} \quad 3\overline{)73.98} \quad 7\overline{)89.67} \quad 8\overline{)92.72}$$

$$42\overline{)336} \quad 36\overline{)324} \quad 78\overline{)624} \quad 25\overline{)225}$$

$$35\overline{)525} \quad 46\overline{)782} \quad 47\overline{)846} \quad 39\overline{)546}$$

$$67\overline{)2814} \quad 43\overline{)2322} \quad 33\overline{)2343} \quad 64\overline{)4603}$$

$$82\overline{)6760} \quad 51\overline{)4437} \quad 43\overline{)3934} \quad 74\overline{)4736}$$

$$25\overline{)4213} \quad 35\overline{)9055} \quad 12\overline{)1495} \quad 59\overline{)9432}$$

[分数と小数]

白石君と青池君が、茂君のところへ遊びに来ています。三人はぶんぶんまわしを作っています。

茂君は、おとうさんのところへ、ぶんぶんまわしのひもをもらいにいきました。

おとうさんは、きっちり2mはかってくださいました。

茂「これを三人で分けよう。白石君、二人で三つに折ろうよ。」

ようやく三つに折ることができたので、茂君が切りはなしています。

父「切ったら長さをくらべてごらん。」

茂君は、三本のひもの一方のはしをそろえて、長さをくらべています。もう一方のはしはそろいません。

さっきから、青池君は2を3で割る計算をしています。

青池 「2m を3で割ると割り切れない。一本の長さを どれだけにすれば よいだろう。」

茂 「もっと 計算して いけば、  
割り切れるかも知れないよ。」

青池 「あまりが いつも 2  
だから 割り切れないよ。」

$$\begin{array}{r} \text{青池君の計算} \\ 0.666 \\ 3 \overline{) 2} \\ \underline{222} \end{array}$$

茂 「そんなに 計算しても、ミリメートルの位までは よいが、その次の位までは 物指で きちんとはかれないね。」

白石 「66.6 cm でも 66.7 cm でも だめだね。66.6 cm の3倍は 199.8 cm だし、66.7 cm の3倍は 200.1 cm だから。」

青池 「66.7 cm とする方が、66.6 cm とするよりも 2m に近い。だから、ひもの一方のはしから 66.7 cm より すこし短かめのところ にしるしをつけて、その残りを二つに折ったら どうだろう。」

茂君のおとうさんが、さっきの残りのひも

から きちんと 2m 切り取って くださいました。

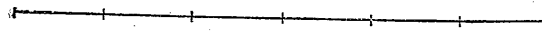
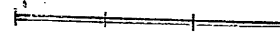
父 「青池君、これを君が 知っている仕方で 三つに折って ござらん。」

青池君が折ってみますと、さっきよりもはやく折れて、わりあい に きちんと できました。

父 「2m を三等分するとき、その長さをミリメートルまで 目盛ってある物指ではかるには、66.65 cm より すこし長めにすればよい。」

茂 「2m の  $\frac{1}{3}$  を どんなに書いたら、よいだろう。」

白石君は、次のやうな図を書きました。



白石 「2m の  $\frac{1}{3}$  は  $\frac{2}{3}$  m だよ。」

茂君と青池君は 考えこんでいます。

私達も 考えてみましょう。

茂 「3m を 三人でわけると 一人分は 1m、

です。4m ならば  $\frac{4}{3}$  m, 5m ならば  $\frac{5}{3}$  m でしょう。」

白石「4m ならば、一人分が1m より長い。どれだけ長いだろう。」

茂「一人が1m ずつとつたら、あと1m 残るね。その残りをまた三つに分けると、一人分が  $\frac{1}{3}$  m になる。だから、1m と  $\frac{1}{3}$  m とを合わせたものになるだろう。」

三人は、次のようなことを書いています。

ひもの長さ(m)	1	2	3	4	5	6
----------	---	---	---	---	---	---

一人分の長さ(m)	$\frac{1}{3}$	$\frac{2}{3}$	1	$\frac{4}{3}$	$\frac{5}{3}$	2
-----------	---------------	---------------	---	---------------	---------------	---

$1\text{と}\frac{1}{3}$     $1\text{と}\frac{2}{3}$

ひもの長さ(m)	7	8	9	10.....
----------	---	---	---	---------

一人分の長さ(m)	$\frac{7}{3}$	$\frac{8}{3}$	3	$\frac{10}{3}$ .....
-----------	---------------	---------------	---	----------------------

$2\text{と}\frac{1}{3}$     $2\text{と}\frac{2}{3}$     $3\text{と}\frac{1}{3}$ .....

三人は、上の表の中で、1 より大きいものを **整数と分数** とに分ける仕方を考えています。

青池「 $\frac{14}{3}$  を整数と分数に分けるには、どうしたらよいだろう。」

茂「 $\frac{12}{3}$  がちょうど4だから、 $\frac{14}{3}$  は  $4\text{と}\frac{2}{3}$  だよ。」

三人は、 $3\div 3$  の答1を  $\frac{3}{3}$  と書き、 $6\div 3$  の答2を  $\frac{6}{3}$  と書いてもよいことがわかりました。また、 $\frac{14}{3}$  のような数を、整数と分数とに分ける仕方もわかりました。

私たちも考えてみましょう。

$\frac{14}{3}$  は、 $4\text{と}\frac{2}{3}$  とを合わせたものです。これを  $4\frac{2}{3}$  と書き「 $4\text{と}\frac{2}{3}$ 」といいます。

$\frac{14}{3}$  のような形で、1 より大きい数を「**仮分数**」といい、1 より小さい数を「**真分数**」といいます。真分数と仮分数とを合わせて**分数**といいます。

$4\frac{2}{3}$  のような形の分数を「**帯分数**」といいます。

青池 「 $\frac{1}{2}$ ,  $\frac{2}{4}$ ,  $\frac{3}{6}$ などを小数になおすと0.5になるね。 $\frac{3}{4}$ に等しい分数を作ってみよう。」

三人は、どんな仕方で作ったでしょう。

茂 「 $\frac{2}{3}$ のように、きっちり小数で書けないのは、どうしたらよいだろう。」

三人は、 $\frac{1}{2}$ や $\frac{3}{4}$ に等しい分数を見て、考えこんでいます。

分数で、横線の下のを「分母」といい、横線の上のを「分子」といいます。

分数で、分母と分子に同じ数をかけても、分子と分母とを同じ数で割っても、分数の大きさには変わりありません。

私たちも、 $\frac{2}{3}$ に等しい分数を作りましょう。

青池 「いつか18000を3600で割ったね。」

あの計算の仕方を説明することができるよ。」

青池君は、どんなに説明したでしょう。

(1) 次の□にあてはまる数を入れなさい。

$$1 = \frac{\square}{3} = \frac{4}{\square} = \frac{\square}{6} = \frac{10}{\square}$$

$$2 = \frac{\square}{2} = \frac{6}{\square} = \frac{\square}{8} = \frac{10}{\square}$$

$$1\frac{2}{3} = \frac{\square}{3} \quad 1\frac{3}{4} = \frac{\square}{4} \quad 2\frac{\square}{5} = \frac{12}{5} \quad 2\frac{\square}{7} = \frac{15}{7}$$

$$\frac{22}{7} = \square \frac{1}{7} \quad \frac{9}{2} = \square \frac{1}{2} \quad \frac{17}{3} = \square \frac{2}{3}$$

$$\frac{1}{3} = \frac{2}{\square} = \frac{\square}{12}$$

$$\frac{2}{3} = \frac{\square}{6} = \frac{18}{\square}$$

$$\frac{3}{5} = \frac{\square}{10} = \frac{15}{\square}$$

$$\frac{3}{7} = \frac{9}{\square} = \frac{\square}{35}$$

$$\frac{2}{9} = \frac{4}{\square} = \frac{8}{\square}$$

$$\frac{4}{11} = \frac{\square}{22} = \frac{\square}{66}$$

$$\frac{6}{7} = \frac{\square}{21} = \frac{30}{\square}$$

$$\frac{3}{8} = \frac{9}{\square} = \frac{\square}{40}$$

$$\frac{\square}{5} = \frac{8}{10} = \frac{\square}{15} = \frac{20}{\square} = \frac{\square}{100}$$

$$\frac{3}{\square} = \frac{9}{12} = \frac{\square}{20} = \frac{27}{\square} = \frac{\square}{100}$$

(2)  $30500 \div 75000$  を、 $305 \div 750$  としてよ  
いわけを説明しなさい。

## [いろいろな問題]

(1) 正君は、四月から 毎月はかつてかいた身体検査の表を 整理しようと思って、きのう身長と体重を はかりました。

身長は、四月に127.8 cmあったのが132.1 cm になっています。どれだけ高くなりましたか。

また、一月間に どれだけの割合で 高くなっていますか。

体重は、四月に23.7 kgであったのが26.5 kg になっています。どれだけ ふえましたか。また、一月間にどれだけの割合でふえていますか。

私たちも、四月から 毎月はかつて作った身体検査の表やグラフを 整理しましょう。

(2) 茂君は、この頃の日の出、日の入について 調べています。

	三月一日	三月十五日	四月一日
日の出	六時十二分	五時五十三分	五時二十九分
日の入	五時三十五分	五時四十八分	六時二分

暦によって、前の表を作りました。

晝の長さは、三月一日から三月十五日までに どれだけ 長くなりましたか。また、三月十五日から四月一日までに どれだけ 長くなりましたか。

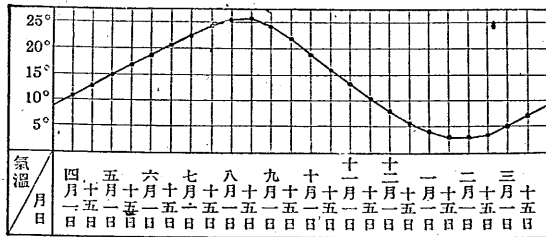
三月十五日から四月一日までの間に、晝の長さは、毎日 どれだけの割合で 長くなっていますか。

この表で、日の出の時刻の変わり方や 日の入の時刻の変わり方についても、調べてもらいなさい。

春分の日の 日の出と日の入の時刻を 暦で調べなさい。その日の晝と夜の長さを計算なさい。

おばあさんが、「暑さ寒さも ひがんまでで、これから、日に日に 暖かくなりますよ。」といわれました。

(3) 正君は、毎日 はかった気温のグラフに



ついて調べています。

にいさんが、「毎月の一日と十五日の気温をとり出して折れ線グラフに書くがよい。」と注意してくれました。

一日、十五日の気温の中で、その温度が前後の日とたいへんちがうところは、前後の日の温度とくらべて、かげんしました。

上のようなグラフに書いて「暑さ寒さもひがんまで。」とつぶやきながら見つめています。

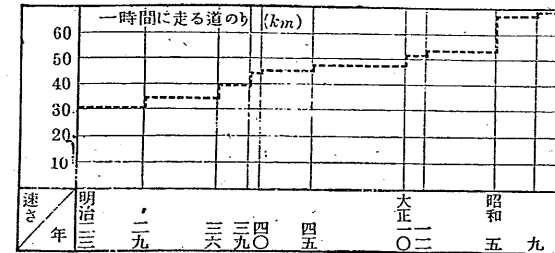
三月二十日過ぎの気温は何度ぐらいになるでしょう。そのころの気温よりも低いのは何日間ぐらいでしょう。

「九月二十日過ぎの気温は何度ぐらいですか。そのころの気温よりも高いのは何日間ぐらいですか。」

私たちが寒いと感じるころの気温は、何度ぐらいより低いときですか。暑いと感じるころの気温はどうですか。

このグラフから、まだどんなことがわかるか、調べてもらいなさい。

(4) 下のグラフは、東京・大阪間を走るいちばん速い列車について、調べたものです。



明治二十三年から昭和九年までの間に列車の速さはどれだけ増していますか。

この間に年々同じ割合で速さが増したとみれば、一年間にどれだけずつ増したことになりますか。

改正になったとき、いちばん速さが増したのはいつですか。

速さが変わらないでいた間で、いちばん長かったのは何年から何年までですか。その間は何年間でしたか。

明治二十三年の速さを書いた点から、昭和五年に改正になった速さを書いた点へ、直線を引きなさい。

また、明治二十三年の速さを書いた点から、二十九年の点へ直線を引き、つぎに、そこから三十六年の点へ直線を引きなさい。このようにつぎつぎと、直線を昭和九年まで引いていきなさい。

これらの直線のようにすをくらべて、どんなことがわかるか考えてみましょう。

## 〔計算練習〕

(1) 次の計算を筆算でなさい。

$$12.2+3.7 \quad 14.5+4.3 \quad 24.9+3.1 \quad 43.3+4.2$$

$$18.5+1.2 \quad 21.3+5.6 \quad 11.2+7.8 \quad 33.6+3.2$$

$$24.3-2.3 \quad 15.6-2.3 \quad 37.2-5.1 \quad 16.8-4.6$$

$$35.7-3.4 \quad 26.3-5.2 \quad 14.7-3.6 \quad 24.8-1.7$$

$$\begin{array}{r} 132.6 \\ + 24.3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 22.69 \\ + 3.35 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5.856 \\ + 0.542 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3.567 \\ + 0.103 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 285.7 \\ + 25.2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 47.84 \\ + 4.05 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1.825 \\ + 0.335 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 2.476 \\ + 0.045 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3.236 \\ + 0.861 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 50.85 \\ + 3.07 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3.077 \\ + 4.506 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.138 \\ + 0.626 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.201 \\ - 0.042 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 24.95 \\ - 5.71 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 2.45 \\ - 0.19 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1.375 \\ - 0.467 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7.4 \\ - 0.062 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 68.5 \\ - 5.43 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 9.38 \\ - 4.47 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5.26 \\ - 1.07 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3.94 \\ - 0.704 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 41.73 \\ - 3.25 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.56 \\ - 3.66 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 2.971 \\ - 0.816 \\ \hline \end{array}$$



(2) 次の計算は、できるだけはやくできる  
ように、何回も練習しなさい。

$$\begin{array}{ccc} 4 \times 5 + 3 & 5 \times 7 + 7 & 3 \times 8 + 6 \\ 2 \times 9 + 5 & 8 \times 3 + 2 & 7 \times 2 + 8 \end{array}$$

(3) 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{ccc} 7 \times 3 \times 26 & 6 \times 4 \times 15 & 15 \times 3 \times 36 \\ 6 \times 7 \times 52 & 4 \times 7 \times 43 & 26 \times 4 \times 8 \end{array}$$

$$\begin{array}{cccc} 3.2 & 8.5 & 0.74 & 0.69 \\ \times 12 & \times 28 & \times 56 & \times 74 \end{array}$$

$$\begin{array}{cccc} 2.73 & 12.6 & 1.91 & 1.74 \\ \times 47 & \times 53 & \times 69 & \times 82 \end{array}$$

$$\begin{array}{cccc} 1.209 & 8.406 & 6.107 & 4.105 \\ \times 36 & \times 84 & \times 29 & \times 37 \end{array}$$

$$\begin{array}{cccc} 0.2 & 0.3 & 0.5 & 0.4 \\ \times 478 & \times 728 & \times 794 & \times 412 \end{array}$$

$$\begin{array}{cccc} 2.4 & 5.7 & 9.3 & 6.3 \\ \times 132 & \times 274 & \times 196 & \times 805 \end{array}$$

(4) 次の計算をなさい。

$$0.5 \times 75 \div 3 \quad 0.7 \times 42 \div 2 \quad 0.6 \times 36 \div 4$$

$$0.8 \times 24 \div 6 \quad 0.9 \times 32 \div 8 \quad 0.7 \times 56 \div 8$$

$$0.6 \times 54 \div 2 \quad 0.3 \times 84 \div 9 \quad 0.4 \times 65 \div 5$$

$$53 \overline{)1325} \quad 69 \overline{)3933} \quad 72 \overline{)3744} \quad 47 \overline{)3807}$$

$$5 \overline{)26.5} \quad 7 \overline{)16.8} \quad 6 \overline{)53.4} \quad 4 \overline{)10.4}$$

$$8 \overline{)24.8} \quad 9 \overline{)37.8} \quad 12 \overline{)67.2} \quad 13 \overline{)58.5}$$

$$14 \overline{)44.8} \quad 42 \overline{)58.8} \quad 25 \overline{)52.5} \quad 62 \overline{)142.6}$$

(5) 次の計算をなさい。

$$5 \overline{)2115} \quad 3 \overline{)1428} \quad 4 \overline{)2608} \quad 6 \overline{)2586}$$

$$8 \overline{)986} \quad 7 \overline{)1779} \quad 2 \overline{)1347} \quad 9 \overline{)3785}$$

$$18 \overline{)414} \quad 25 \overline{)817} \quad 36 \overline{)849} \quad 27 \overline{)376}$$

$$42 \overline{)546} \quad 16 \overline{)592} \quad 57 \overline{)2578} \quad 68 \overline{)1829}$$

K160.4-2  
~~395-5~~ K160.4-1-4下

(6) 次の□にあてはまる数字を入れなさい。

$$2 = \frac{\square}{2} = \frac{8}{\square} = \frac{\square}{15} = \frac{200}{\square} = \frac{\square}{1000}$$

$$3 = \frac{\square}{6} = \frac{\square}{11} = \frac{45}{\square} = \frac{\square}{20} = \frac{90}{\square}$$

$$0.5 = \frac{\square}{2} = \frac{10}{\square} = \frac{\square}{30} = \frac{50}{\square} = \frac{\square}{1000}$$

$$\frac{4}{5} = \frac{\square}{10} = \frac{12}{\square} \quad \frac{5}{7} = \frac{10}{\square} = \frac{\square}{35}$$

$$\frac{3}{11} = \frac{\square}{33} = \frac{21}{\square} \quad \frac{7}{9} = \frac{\square}{18} = \frac{21}{\square}$$

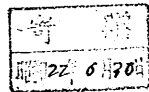
$$\frac{11}{3} = \square \frac{2}{3} \quad \frac{13}{6} = 2 \frac{\square}{6} \quad \frac{34}{5} = \square \frac{4}{5}$$

(7) 次の分数は、 $\frac{1}{2}$ ,  $\frac{1}{5}$ ,  $\frac{2}{3}$  に等しい分数です。この分数を等しいもので整理なさい。

$\frac{4}{6}$	$\frac{2}{10}$	$\frac{3}{6}$	$\frac{3}{15}$	$\frac{4}{8}$	$\frac{6}{9}$
$\frac{2}{4}$	$\frac{4}{20}$	$\frac{6}{12}$	$\frac{8}{12}$	$\frac{20}{100}$	$\frac{50}{100}$
$\frac{5}{25}$	$\frac{22}{33}$	$\frac{7}{14}$	$\frac{24}{36}$	$\frac{6}{30}$	$\frac{26}{39}$

(8)  $\frac{1}{3}$ ,  $\frac{1}{4}$ ,  $\frac{1}{5}$  に等しい分数を書きなさい。

66540



算 数 第四学年用下

Approved by Ministry of Education

(Date Jun. 5, 1947)

昭和廿二年六月五日 翻刻印刷

昭和廿二年六月廿五日 翻刻発行

(昭和廿二年六月五日 文部省検査済)

著作権所有 著 作 者 文 部 省  
 発 行 者

東京都文京区久堅町一〇八番地

翻刻発行  
 録印刷者

日本書籍株式会社

代表者 大 橋 進 一

東京都文京区久堅町一〇八番地

印刷所

日本書籍株式会社

発行所

日本書籍株式会社

# 算 数

第五学年用

上



K160.4
1
5上